

適正施設ガイドライン

【クロウミウマ *Hippocampus kuda*】

2020年9月

公益社団法人日本動物園水族館協会

1 飼育環境

1-1 水温

おおむね20～30℃であるが、高温が長く続くのは好ましくない。

1-2 設置場所

上記の温度条件を満たす場所が望ましい。

1-3 照明（日照、人工照明、照明時間長）

照明は自然光、人工照明（蛍光灯、LED灯）のどちらでも良い。点灯や消灯の時刻が日々異なるのは好ましくない。

1-4 水槽容積

本種はあまり泳ぎ回らず個体間の闘争もほとんど見られないため一般的な魚種に比べれば底面積は小さくてよいが、魚体が縦長で特に交尾に際しては上昇下降を繰り返すため、深さはある程度あった方がよい。10cm以下の小さい個体であれば、水深40cm程度でも交尾は可能であるが、大きな個体ではより水深が必要となる。水槽収容数は底面積や止まり木となる構造、また、給餌量や水質浄化能力により異なる。

1-5 構造、設備

本種は海藻やロープ等に尾部を巻き付けて体を固定するため、掴まることができる構造物が必要である。また、エアレーションを入れる場合は、空気（泡）を飲み込むことがあるため、気泡が魚体に触れないようエアーストーン等をパイプに入れたり、水槽を仕切る等の工夫をした方がよい。



1-6飼育水（水質）

水質は一般的な海水魚と同様。